



ご縁を喜び、お念仏とともに

親鸞聖人御誕生

850
立教開宗
00

組報 多摩

組報発行の
ごあいさつ

多摩組教化団体
代表者のご紹介

こども食堂かくしょうじ

多摩組実践運動
新任部長の紹介

組報第22号発行の ごあいさつ



ここ数年コロナ感染症拡大により、社会情勢は疲弊し、その結果多摩組の行事も延期・中止を余儀なくされました。本年度は感染拡大している中ですが、社会的制限が無くなったことで、少しずつ組活動を再開致したく存じます。

さて本年は「関東大震災百回忌」という節目にあたり、少々歴史を振り返ってみたいと思います。

大正12（1923）年9月1日午前11時58分、南関東一円に発生した「関東大震災」は甚大な被害をもたらしました。この地震による死者、行方不明者は10万5千人といわれ、全壊・焼失・流出家屋は37万棟

に及び、築地本願寺一帯も壊滅的な被害を受けました。当時築地本願寺の寺中寺院であった私の寺（明西寺）も同様でした。

明西寺史によると、地震には何とか耐えられたものの、当時の住職（曾祖父49歳）は地震後の倒壊や火災の危険を感じ、万一を考えて御本尊・御絵像等40キロ近い仏さまを避難箱に入れて背負い、断腸の想いで寺を後にしたとのことでした。

そしてその日は芝公園に野宿し、翌日東京三田の御門徒宅へ仏さま一切と共に避難したそうです。

当時はこのような情景があちこちで見られたのであろうと思います。

その後の築地本願寺の界限では区画整理がはじまり、寺中寺院50数カ寺のうち約90%が計り知れない困難を乗り越え、寺基移転となって現在に至っております。

多摩組では25カ寺のうち11カ寺が寺基移転し、尊い因縁により現在の地にて有難く法統継承の灯を、ともしつづけています。

多摩組教化団体 代表者紹介



つちだ よしゆき
土田 良幸

総代世話人会 会長

総代会として東京教区、組内寺院、各強化団体と連携、協力して多摩組の活動強化に寄与したいと考えています。皆様、ご協力ご指導宜しくお願い致します。



よしまる ひろし
吉丸 八紘

仏教壮年会 理事長

コロナ禍中での就任で、ご挨拶も何も出来ず心苦しく思っていました。早く終息を迎えて皆様とご一緒に組活動のお手伝いが出来ますよう願っております。



むとう たかゆき
武藤 孝行

門徒推進員連絡協議会 世話人

明西寺門徒の武藤と申します。門徒推進員連絡協議会は発足して15年目、現在は門徒推進員22名が登録されております。コロナ禍にあって自主活動の読書会は6月から再開、門徒推進員の方の参加をお待ちしています。

子どもの貧困を考える

こども食堂 かくしゅうじ

— 覺證寺ご住職のお話 —



4年前の組報で、調布市の覺證寺を会場に開かれている「こども食堂かくしゅうじ（以下、かくしゅうじ）」の活動をご紹介しました。にぎやかにおしゃべりしながら夕ご飯を食べたり、友だちと自由に遊んだり、一緒に宿題をしたり……。月2回の食堂を楽しみにして、お寺へ足をはこぶ子どもたちの様子などを書かせていただきました。そのこども食堂が、新型ウイルスの感染が広がった今どうなっているのか。今回はこの2年半の活動の状況をお伝えします。



◇ 子どもだけで入れて、無料か安価でご飯を食べられる場所といわれるこども食堂。かくしゅうじがスタートした平成28年には全国に約320カ所でしたが、昨年12月の調査では約6千カ所に増えていることがわかりました。約20倍です！ 興味深いこと

に、そのうち2千カ所以上の食堂が感染拡大後の令和2年以降に活動をはじめていきます。

ソーシャル・ディスタンスが叫ばれ、人と人とのコミュニケーションが不足する社会状況のなか、家庭内トラブルの増加や様々なしわ寄せが弱者に集中していることが、これまで以上にクローズアップされました。こういう時だからこそ自分にできることをしよう！と活動をはじめた食堂が多いのでしょうか。

◇ ちなみに覺證寺のある調布市でも令和元年には8カ所だったこども食堂が3年経った今では15カ所に増えています。

◇ こども食堂かくしゅうじは、地域の人が集まり第1・第3木曜日の夕食時に開いてきました。会場である本堂地下の多目的ホールに、多い時で100人を超える親子が来て、席を替わりながら食事をしていました。本堂を遊ぶスペース、1階和室を宿題・勉強の部屋として開放し、子どもたちが自由に遊べる居場所にもなっています。



配布する食品のパッキング作業

た。そんな、たくさんの子どものたちの笑い声が響く食堂は、令和2年3月の一斉休校と4月の緊急事態宣言によって開くことができなくなりました。

◇ 当初はスタッフが集まってお弁当をつくって配っていましたが、緊急事態宣言が出てからはスタッフも集まれなくなりました。この状況で何ができるだろうか、ずいぶん頭を悩ませたことを思い出します。ただ、3月からは調布市子ども食堂ネットワークとして、市や社会福祉協議会と連携して無料のフードパントリー（食品配付）を継続して実施していたこともあり、かくしゅうじの活動を休むことは考えませんでした。そこでひらめいたのが、近所のお店のお弁当引換券や利用券を配るアイデアでした。

◇ あの頃は、お店から客が消え、休業を余儀なくされるなど、街のお店も不安と混乱のなかにありました。お店で使える利用券やお弁当の引換券などを配れば



近隣のお店の利用券



配布用のお弁当やレトルト食品

かくしゅうじの利用者はもちろん、近所のお店も嬉しいだろうと考えたのです。チケットを印刷して配るだけならボランティア・スタッフが集まる必要はありません。私一人だけでも実施できるので感染リスクを下げられます。

こうして食堂を開けない代わりに、近所のお店の利用券を配るといふ形に切り替え、親子の食を支援する活動を続けました。その後は感染状況に応じて、レトルト食品のセットやお弁当を配るフードパントリーも活動に加えて、今もこれが続いています。

また、新たに「LINE」というスマホのツールも採り入れました。利用対象は若い保護者ですから、スマホでお知らせをして簡単に申し込んでもらえるようにしました。その結果、最初のお寿司屋さんのお弁当引換券には、32家族99人分

の申し込みがあり、以後、続々と利用者が増えて、今年4月には過去最多の74家族235人分の申し込みがありました。

◇ 緊急事態宣言が明けてからは、利用券やお弁当を受け取りにくるのに合わせて、1時間だけ子どもの遊び場を開くようになりました。地域のイベントや学校行事がずっと中止になっていた子どもたちに、人と関わる楽しい体験をしてほしいというスタッフの声によってはじまったものです。

密にならずに遊べるレクリエーションや縁日ゲームを2つ用意して、お菓子をプレゼントするだけなのですが、これが子どもたちにとっても好評でした（笑）、毎回40〜70人ぐらいの子が楽しみに参加してくれます。



レクリエーションや縁日ゲーム

この活動を継続できているのは、一つには多くの個人や団体からの寄付や市の補助金をいただけているからです。もう一つ大きな要因があります。それは、会場がお寺であることです。会場費や光熱費の負担がないだけでなく、市の施設のように感染拡大時でも厳しい制限がありません。お店の利用券を配る活動もそうです。近所のお店が二つ返事で協力してくれたのも「あのお寺の住職さんがやっている」という安心感があったからでしょう。何の

この遊び場があることで、子どもだけではなく、スタッフの大人たちもやりがいを感じています。子どもたちが楽しそうに笑っている姿は、周りの大人を元気にするので。



子どもたちと密にならない外遊び

団体？と怪しまれることもなく、おかげさまでお金のやりとりにも心配がありません。お寺がこども食堂のベースになっているのは、とてもメリットがあるのです。

かくしょうじの活動は、子どもたちに食事を楽しく食べる経験をたくさんしてほしいという願いからはじまりました。その時間をとおして、学校とはちがう友だちの一面を知ることになれば、家族や先生以外の大人と知り合いにもなるでしょう。そうやって、いろんな面から人を見たり、人や社会への興味関心を広げたり、いろんな人と関わりを持つことができるようになる。それが、こども食堂の良いところ。

それはボランティア・スタッフの大人や若者にとっても、利用する保護者にとっても同じです。受け取りに来るちよつとし



お弁当を作る作業

た時間に、雑談をして、グチを言って、笑いあって……。もしかしたら、そんな時間ができているのも、お寺という安心できる場所があるからかもしれません。

この2年半で、活動の形はいわゆる「食堂」からは少し変化しています。それでも、子どもと保護者、ボランティアの皆さんにとって、かくしょうじに来る時間が大切なものであることに変わりはないようです。



たくさん的高校生・大学生世代のボランティアが参加

多摩組実践運動新任部長紹介

多摩組実践運動の活動を推進してゆく各部の部長をご紹介します



壮年研修部部長

照恩寺 住職

溝口 賢亮

Mizoguchi Kensuke



仏婦研修部部長

大恩寺 住職

岡本 信悟

Okamoto Shingo



総代研修部部長

光西寺(立川) 住職

渡邊 頼陽

Watanabe Raihi



門徒推進員部部長

延浄寺 副住職

網代 孝二

Ajiro Kouji



キッズサンガ部長

長専寺 副住職

伊東 雅俊

Ito Masatoshi



僧侶研修部部長

本光寺 副住職

田中 無量

Tanaka Muryo



阿弥陀如来の大悲を仰ぎ、大悲のはたらきを行動原理として、手を携え、苦悩に満ちた世界を生き抜いていくことは、み仏の大いなる救いに包まれている私たちが歩むべき姿です。

私たちが取り組む実践運動は、み仏の大いなる救いのはたらきに包まれた私たちが、自らの限界を知らされつつも、み教えに学び、共に歩むことによって、やすらかな社会をめざし、恒久の平和を求め、「自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現」に寄与していこうとするものです。



寺院名		所在地	
調布市	光西寺	〒182-0003 調布市若葉町1-44-2	Tel.03-3300-5054 Fax. 同 左 法座：不定期
	安養寺	〒182-0003 調布市若葉町1-44-5	Tel.03-3307-5605 Fax.03-3307-5496 法座：第1日曜日
	明西寺	〒182-0003 調布市若葉町1-43-5	Tel.03-3300-1901 Fax.03-3300-2681 法座：10日前後婦人会 1.4.10月壮年会 https://myousaiji.or.jp/
	光徳寺	〒182-0003 調布市若葉町1-38-27	Tel.03-3300-6431 Fax.03-5384-3344 法座：不定期
	西照寺	〒182-0003 調布市若葉町1-39	Tel.03-3300-7734 Fax.03-3300-7794 法座：毎月第2土曜日
	光源寺	〒182-0006 調布市西つつじヶ丘2-30-11	Tel.03-3300-0881 Fax.03-3308-6289 法座：隔月 奇数月 がん患者・家族語らいの会 第4火曜 月1回 http://van103.com/wp/
	正善寺	〒182-0003 調布市若葉町1-42-5	Tel.03-3300-6064 Fax.03-3300-6687 法座：第1日曜日（1日の場合は8日）
	覺證寺	〒182-0033 調布市富士見町1-35-5	Tel.042-482-5556 Fax.042-480-0166 法座：第1土曜日・聖典学習会 月1回 https://kakushoji.or.jp/
	長専寺	〒182-0033 調布市富士見町1-35-4	Tel.042-482-3411 Fax.042-498-1105 法座：不定期
	圓福寺	〒182-0022 調布市国領町1-10-11	Tel.042-482-7955 Fax.042-481-4734 法座：不定期
延浄寺	〒182-0006 調布市西つつじヶ丘2-30-1	Tel.03-3326-7337 Fax.03-3326-5037 法座：不定期 https://enjoyoji.com/	
立川市	光西寺	〒190-0021 立川市羽衣町3-20-16	Tel.042-522-3413 Fax.042-524-7788 法座：毎週金曜晩又は土曜昼 各種仏教講座 https://www.kousaiji.tokyo/
国立市	應善寺	〒186-0002 国立市東2-2-1	Tel.042-572-0043 Fax.042-572-0148 法座：毎月第1土曜日 門徒会：偶数月中旬の日曜 https://ouzenji.com/
小平市	照恩寺	〒187-0041 小平市美園町3-23-20	Tel.042-341-2935 Fax.042-347-4122 法座：毎月13日・第1土曜・第4土曜 https://www.shouonji.jp/
多摩市	阿弥陀寺	〒206-0013 多摩市桜ヶ丘1-24-2	Tel.042-375-8055 Fax.042-337-4889 法座：年3回・毎月28日 明宝会：毎月15日前後 極楽トンボ会
青梅市	浄弘寺	〒198-0036 青梅市河辺町8-19-8	Tel.0428-32-1769 Fax.0428-32-2010 法座：第3土曜日 https://joukoji.com/
稲城市	玄忠寺	〒206-0822 稲城市坂浜878-6	Tel.042-331-3655 Fax.042-350-1530 法座：第3日曜日
町田市	圓成寺	〒194-0004 町田市鶴間5-17-1	Tel.042-795-0181 Fax.042-795-0444 法座：毎月28日 https://itp.ne.jp/info/130730018100000899/
	圓成寺出張所	〒194-0035 町田市忠生3-24-13	Tel.042-792-3007 Fax.042-792-3006
	町田布教所 高源寺	〒195-0063 町田市野津田町2534-20	Tel.042-737-3236 Fax. 同 左 法座：第2土曜・23日前後の平日 https://www.ko-genji.com/
八王子市	専念寺	〒192-0063 八王子市元横山町2-14-24	Tel.042-644-3491 Fax.042-648-6087 法座：隔月1回
	光照寺	〒192-0912 八王子市絹ヶ丘3-8-1	Tel.042-635-3754 法座：不定期
	本光寺	〒193-0832 八王子市散田町4-40-10	Tel.042-664-2196 Fax.042-663-2501 法座：仏教講座 第3金曜日 https://honkouji.net/
	大恩寺	〒193-0943 八王子市寺田町1085	Tel.042-668-0889 Fax.042-668-1825 法座：第2土曜日・第4日曜日 http://www.daionji.jp/
	誓願寺	〒193-0816 八王子市大楽寺町209-5	Tel.042-651-0073 Fax.042-651-6183 法座：第3木曜日 毎月10日 大楽の集い http://seiganji.tokyo/
	延立寺	〒193-0802 八王子市犬目町681	Tel.042-654-2429 Fax.042-654-6930 法座：第4月曜日 http://enryuji.a.la9.jp/

法座の詳細については各寺院へ直接お問い合わせください。